

以下の表1・表2は『日本経済の進路と戦略－参考試算－』の2007年版と2008年版をもとに、試算した結果である。

表1 日本の財政の将来予想(高成長・歳出削減大のシナリオ)^{※1}

	2008年版	2007年版
財政が破綻する確率	62.5%	44.4%
プライマリー・バランス ^{※2}	-0.1%	0.2%
実質 GDP 成長率	2.6%	2.5%
平均実質金利	2.64%	2.57%
平均公的債務残高 (対 GDP 比：2005年と比較)	約 1.12 倍	約 0.98 倍
公的債務(対 GDP 比)が期待値 ベースで現在より減るために 必要なプライマリー黒字	0.2%	0.2%
公的債務(対 GDP 比)が 95%以 上の確率で現在より減るため に必要なプライマリー黒字 ^{※3}	1.0%	1.1%

※1：表1は100年後の日本の財政を試算したものである。参考1、参考2を参照。

※2：100年間の平均的なプライマリー・バランスの値。実質 GDP 成長率も100年間の平均値である。

※3：2008年試算のほうが、2007年試算よりもプライマリー・バランスが悪化しているため、破綻確率は高くなる。一方、2008年試算のほうが2007年試算よりも実質 GDP 成長率が高いため、必要なプライマリー黒字が小さくなる。

表2 日本の財政の将来予想(平均的なシナリオ)^{※4}

	2008年版	2007年版
財政が破綻する確率	96.8%	93.6%
プライマリー・バランス ^{※5}	-0.55%	-0.275%
実質 GDP 成長率	1.875%	1.775%
平均実質金利	2.16%	2.09%
平均公的債務残高 (対 GDP 比 : 2005 年と比較)	約 1.71 倍	約 1.58 倍
公的債務(対 GDP 比)が期待値 ベースで現在より減るために 必要なプライマリー黒字	0.6%	0.6%
公的債務(対 GDP 比)が 95%以 上の確率で現在より減るため に必要なプライマリー黒字 ^{※6}	1.4%	1.5%

※4 : 表 2 は 100 年後の日本の財政を試算したものである。参考 1、参考 2 を参照。

※5 : ※2 を参照

※6 : ※3 参照

参考 1：『日本経済の進路と戦略－参考試算－』2008 年版の描く 2011 年度の姿^{※7}

	実質 GDP 成長率	名目 GDP 成長率	プライマリー・バランス (国・地方、対 GDP 比)
高成長・歳出削減大 シナリオ	2.6%	3.3%	-0.1%
低成長・歳出削減大 シナリオ	1.1%	1.6%	-0.6%
高成長・歳出削減小 シナリオ	2.6%	3.5%	-0.5%
低成長・歳出削減小 シナリオ	1.2%	1.8%	-1.0%
平均	1.875%	2.55%	-0.55%

※ 7：「参考試算」による。

参考 2：『日本経済の進路と戦略－参考試算－』2007 年版の描く 2011 年度の姿^{※8}

	実質 GDP 成長率	名目 GDP 成長率	プライマリー・バランス (国・地方、対 GDP 比)
高成長・歳出削減大 シナリオ	2.5%	3.9%	0.2%
低成長・歳出削減大 シナリオ	1.0%	2.0%	-0.4%
高成長・歳出削減小 シナリオ	2.5%	4.0%	-0.1%
低成長・歳出削減小 シナリオ	1.1%	2.2%	-0.8%
平均	1.775%	3.03%	-0.275%

※8：「参考試算」による。